

水源

第72号

西岡地区町内会連合会

2025 10

夏の行事

子ども達の思い出作り

◇夏祭り

大和東町内会

今年も、恒例の夏祭りを8月9日(土)に開催しました。前日まで天候が怪しかったのですが、当日は朝から快晴に恵まれ、暑い、熱い1日となりました。



午前8時から、お祭り実行委員会を中心として、やぐら組みや電飾設営等の会場準備が始まり、会場の大和東公園はお祭り一色となりました。午後5時の開始時刻には町内の皆

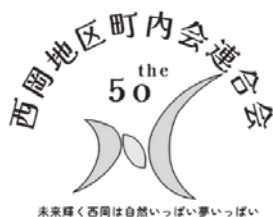
さんが会場に集まり、金魚すくい、スーパードールすくい、ヨーヨー釣り、輪投げや的あてなどの子ども縁日は大盛況で、子どもたちの歓声が絶えませんでした。今回は降雨による中断があり、出番目の札幌大学よさこいサークル「Lafete」の皆さんは待機、その後雨も上がり、力強い演舞を披露していただきました。

札大の方々はその後の子ども盆踊りにも参加して大いに盛り上がりしました。盆踊りは、「サロンほがらか」の踊り指導もあり、皆で楽しく踊ることができました。飲食は今年も「ひまわり屋」さんの協力で、焼きそば、焼き鳥、フランクフルト、パンなどを提供。ビールやジュースも併せて飛ぶように売れました。最後は吹き出し・打

～いよいよ50周年～ 西岡地区町内会連合会

昭和51年4月に「西岡福住地区町内会連合会」として創立された「西岡町連」は令和8年4月に50周年を迎えます。昨年の会長会議等で「50周年記念事業」の準備を開始しました。

記念事業では「50周年記念誌」の編纂と「50周年記念式典」の実施を計画しています。町連総務部を中心に内容を検討し、今後随時進捗状況をお知らせします。



未来輝く西岡は自然いっぱい夢いっぱい



ち上げ・ナイヤガラなどの花火をおこない、盛り上がりの中、無事終了することができました。お祭りに参加した皆さん、実行委員、協力いただいた方々に感謝申し上げます。

西岡大和東町内会は、子どもが増えている数少ない町内会のひとつです。町内会の団結と盛り上がり、子どもた

ちの夏の思い出作り、地元で親しむきっかけ作りのために、夏祭りは毎年開催していく予定です。当日の準備、運営をしてみたいという方を広く募集しています。

参加はもちろん、あなたの斬新なアイディアでお祭りを企画立案してみませんか！

◇お米

あつという間に倍になってしまったお米の値段。スーパーマーケットでも棚はカラッポ。少しだけ残っているお米の値段は5kg 5千円前後。今は一時期より多少下がったとはいえ高いことには変わりありません。話題になった備蓄米も今はどこにあるのやら、ちよつとした米騒動ですね。

農家から直接購入しているという話も耳にします。玄米で買って自宅で少しずつ精米して食べると、白米で長期置いておくよりも味がいいとか。余談ですが、玄米ご飯は便秘に良くきくそうです。間もなく新米の時期がやって来ます。おいしいお米を食べたいですが、お値段のほうはどうなることやら。

夏の行事

◇ラジオ体操

大和東町内会

7月26日(土)から8月8日(金)までの14日間、途中雨で2日間中止となり、12日間実施しました。子どもたちや家族はもちろん、近所の方々の参加もあり、早朝から元気に楽しくラジオ体操に取り組むことができました。



◇盆踊り

さくら町内会

今夏は異常猛暑が続きましたが、8月7日(木)の天候はくもり、暑さもひと段落。ただ蒸し暑さは残っている中、多くの家族連れが集まりました。

場所は毎年恒例の藻岩山の夕景が望める「丘の上公園」です。運営する町内会役員

今年の夏休みも猛暑の影響で期間が延長されました。子どもたちは、長期休みの生活リズムを整えるために、大人は日頃の運動不足解消や健康管理に役立ちました。

期間中、大人と子どもも合わせて、延べ680人近くの参加がありました。



の方々、太鼓をたたく子どもたち、踊る家族連れ、みんなの和が一緒にあって、踊りの輪が段々と大きく二重三重となりました。



わが町点描

焼山

西岡地区は、明治開拓期の月寒村の一地区として、当時は焼山と呼ばれていました。山火事が多くてこの名がつけられたようです。その後「西山」と改称され、さらに現在の「西岡」と名付けられました。



今の「焼山」は西岡一の高い山です。西岡水源池から登って、高さは261・8Mです。ただ、頂上は森林に囲まれた中にあり、熊が出たため西岡公園は一時的に休業しました。



西岡地区
青少年育成委員会

青少年育成委員会って？

地域において子どもたちの健全な育成に関する実践活動を推進するために組織されたものです。豊平区では9地区（平岸・美園・月寒・西岡・中の島・東月寒・福住・南平岸・豊平）に分かれそれぞれ活動しています。西岡地区では、「水源」でもお伝えしているように、パトロールや、子どもたちが喜ぶような催し物を計画実施しています。

夏休み中の公園パトロール（今年は雨天中止）や、西岡八幡宮の見回りは、暗いなか危険がないよう気を配りながら歩きます。毎年恒例になった児童会館での読み聞かせと工作。大きな紙芝居が人気です。その後の工作では、帰宅しても遊べるよう

な楽しいおもちゃを作ります。苦手な子にはちよつとだけ手を貸して完成させます。喜んで遊んでいる子どもたちを見ているとこちらもうれしくなります。これからの時期は「青少年を見守る店」を訪問して話を聞いたり、「まちの灯り」でゲームを担当します。西岡の子どもたちが元気で健全に育つよう委員一同頑張ります！一緒に活動してみたい方は是非声をかけてください。



福まちびろば



西岡地区社会福祉協議会
（福祉のまち推進センター）

秋の防災シーズン ～一斉に「安否確認」を行います～

福まち（西岡地区福祉のまち推進センター）では、例年、秋の防災シーズンに合わせ、高齢者（※1）の安否確認を実施しています。9月末～10月上旬の一定期間に、福祉推進員（※2）が担当地区の高齢者宅を訪問し、安否確認を実施しています。同時に緊急災害時などに役立つ生活用品を届け、高齢者からは笑顔で喜ばれています。

訓練とはいえ、転居や施設への入所など高齢者の動静が把握でき、地域の支え合いの一環として重要な活動となっています。

※1 高齢者：70歳以上、ひとり暮らしで福まちに登録の西岡地区在住の方、500名。

※2 福祉推進員：各町内会・自治会長の推せんにより福まちの活動を担っています。



西岡地区町内会連合会
Facebookページ

<https://www.facebook.com/nishioka.choren>
※町連の情報発信の場です。



にしおかまちづくりセンター
ホームページ

<https://www.city.sapporo.jp/toyohira/nishioka/index.html>
※「水源」バックナンバーが閲覧できます。



災害時の生活用品（この写真内から4品をお届け予定）

活動報告

【6月】

「とよひらHANA-LAND」事業で水源池通り沿い等に約8300株を植花しました。

第3回「にしおか地区まつり」は、札幌大学の玄天祭（げんてんさい）に協力開催しました。地域のイベントとして定着し、6200人以上の来場がありました。

【7月】

福祉厚生部主催の室内開催「健康パーク交流会」は12回目の開催となりましたが、毎回大いに盛り上がっています。

【8月】

第23回「パークゴルフ大会」は88名が参加し輪厚国際パークゴルフコースで実施しました。

【9月】

女性部主催の「健康セミナー」も第21回を重ね、健康意識の高さが伺えます。体育部主催の「ノルディックウォーキング」は、熊出没情報に注意を払いながら、6月は森林総合研究所付近の散策、9月は羊ヶ丘展望台内の散策を実施しました。

ヒグマは山に留めましょう

人が襲われる事故や家庭菜園の被害などヒグマの猛威が連日報道されています。そんな中、8月17日（日）に西岡公園内でも目撃情報があり8月いっぱい園内閉鎖となりました。元々ヒグマの棲息が想定される地域と近く目撃自体は驚くことではありません。

しかしこれ以上不用意に居住地域に近づきイラストにあるようなことになっては笑い事ではすみません。こんなことにならないよう各家庭においてはごみを屋外に放置しない、ごみ出しにあたっては分別の徹底や前日からごみを出さないなど基本的なルールを守ることが必要です。また夜間、早朝

の犬の散歩やウォーキング等にあたっては、鈴など音を出すものの携帯や、できれば複数人で行動するなど万一来に備えた対策を講じましょう。

これからの季節も冬眠準備のためヒグマの活発な活動が続きます。

一人ひとりができることをしっかり行なって、人もヒグマもお互い不幸なことになるような気をつけたいものです。



編集後記

世界で一番短期間に大都市になったのはどこか？それは「札幌」であるらしい。

元々動物の天国だったものを人間が「入植」という名の下で、動物（特にヒグマ）にとつての生活圏をどんどん奪ってきた歴史でもあります。

最近では熊の主食である栗の実が天候異変でとれなくなつた。人間の食糧を食べると、猟銃で撃たれてしまう。熊にとつては死活問題でやりきれないだろう。熊が安心して生きられるエリアを作って、人間と共存できるようにしなければいいと思う。熊を「害獣」と呼ばれなくなる世界ができる日がくればいいなあ！（寿）

広報誌 水源 第72号
発行 西岡地区町内会連合会
豊平区西岡4条5丁目8-121
電話 85410357
編集 広報部
印刷 北晃社齋加印刷所